

開催要項

- 【主催・主管】 一般財団法人 東京都スキー連盟
【会期】 2022年1月29日(土)～1月30日(日)
【会場】 長野県・菅平高原スノーリゾート
【競技本部】 ロッヂいざよい(長野県上田市菅平高原1223-173 TEL 0268-74-2048)
【大会日程・競技種目】 ※積雪状況・天候等により、コース・種目が変更になる場合があります。
※公式掲示板(2カ所) レストランシュワルツ(白金ゲレンデ下部) / ロッヂいざよい
※開会式及び閉会式は行いません。
- 1月29日(土) 12:00 ～ 大会コート クローズ
13:00 ～ 実行委員会
14:30 ～ エントリーリスト掲示 レストランシュワルツ/菅平国際リゾートセンター
15:30 ～ 17:00 受付(個人単位)※健康管理表提出 菅平高原国際リゾートセンター2F
- 1月30日(日) 7:30 ～ 8:00 受付(個人単位) ※前日受付不可選手のみ レストランシュワルツ(白金ゲレンデ下部)
8:00 ～ 8:25 コースインスペクション(サイドスリップにて)
【4種目】 ※2種目同時進行
8:45 ～ 12:00 ① 大回り(中急斜面・ナチュラル) Aコート(白金ゲレンデ・リフト側)
② 小回り(中急斜面・ナチュラル) Bコート(白金ゲレンデ・林側)
12:15 ～ 15:30 ③ 総合滑降マテリアル規制(中急斜面・ナチュラル) Aコート(白金ゲレンデ・リフト側)
④ 小回り(中急斜面・不整地) Cコート(白金ゲレンデ・林側)
16:30 ～ 選考委員会
17:00 ～ 結果発表 公式掲示板・公式FACEBOOK
17:30 ～ 表彰式 菅平高原国際リゾートセンター 2F
※表彰対象選手及び全日本出場選手のみ参加
- 【参加資格】 ① SAJ級別テスト1級またはこれと同等以上の技術を有する者。
② 各種の傷害保険に加入済であること。(保険証券番号及び印鑑を持参すること)
③ SAT・SAJ登録されていなくても参加できる。
- 【競技方法】 ① 4種目で競技を行う。
② 男子3班・女子1班の4班編成とし、班内ローテーションを行う。
③ 審判は各種目とも5審3採制(公開)とする。
④ 使用スキーは2台までとする。(マテリアルチェックは行わない)
⑤ 全種目ヘルメット着用義務とする。着用しない場合はスタートできない。
⑥ 全種目において着用するウェアはルーズフィットなものとしワンピース等は禁止する。
縫製・接着・テープ貼付など、ウェアに加工が認められた場合は失格となる場合がある。
⑦ 各種目の要領及びジャッジ観点については、別紙種目要領・ジャッジ観点資料内容による。
- 【順位決定】 ① 総合成績は全種目の合計得点の高い者より決定する。
② 天候等によりキャンセル種目が出た場合、2種目の終了を持って成立とする。
- 【表彰】 ① 総合成績男子10位まで、女子6位まで表彰する。
② 表彰対象者の総合得点が同点の場合、別途定める方法によって順位を決定する。
- 【選考基準】 ① 総合成績により、男子16名・女子14名・補欠(男女各1名)を当年度全日本スキー技術選手権大会
出場選手として選考する。(総合得点が同点の場合は選考委員会が選考する)
② 前回全日本スキー技術選手権大会決勝出場者および選考委員会が特別に認めた者については、欠席及び種目
欠場、途中棄権等により本選出場枠に入らなかった場合、選考対象とする。
③ 選考対象は次の各条件を全て満たす者とする。
A.日本国籍を有する
B.当該大会開催年度の4月1日現在で満18才以上。ただし加盟団体長が特に認めた者については、この限りではない。
C.2022年度本連盟およびSAJ登録会員
D.SAJスキー級別テスト1級以上認定
- 【注意事項】 ① SAT新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき、出場選手は健康管理表を提出すること。
② 受付は個人単位で行う。受付時に健康管理表の提出を行い、引き換えにプログラムとビブを配布する。
③ 1月29日(土)に受付ができない選手のみ、1月30日(日)の朝に受付を行う。
④ 選手会は開催しないが、競技内容等については事前に公式FACEBOOK、公式掲示板にて掲示を行う。
質問事項は、1月29日(土)15時までに大会本部(ロッヂいざよい)まで文章にて提出すること。
回答については、速やかに公式FACEBOOK、公式掲示板に掲示を行う。
⑤ 悪天候等のやむを得ない事情により、競技種目・日程等を変更する場合がある。
⑥ 行事中の事故や傷害等についての責任は負わない。傷害保険・賠償責任保険に必ず加入すること。
⑦ 出場選手は、SAT新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを遵守すること。
※ 大会期間・競技コート内外を問わず、参加選手は過度なスピードを出しての滑走並びに道具の放置等注意し、
一般スキーヤーの模範となる良識ある行動に努めること。